

2023年度 独創的研究助成費 実績報告書

2023年 9月 29日

報告者	学科名	栄養学科	職名	講師	氏名	都島 梨紗
研究課題	地域における若者のトランジション経験の変容に関する比較研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	都島梨紗	岡山県立大学・講師	教育社会学	研究遂行者	
	分担者	尾川満宏 知念渉 上山浩次郎 新藤慶 野村駿	広島大学・准教授 神田外語大学・講師 北海道大学・講師 群馬大学・准教授 秋田大学・助教	教育社会学 教育社会学 教育社会学 教育社会学 教育社会学	調査遂行者 調査遂行者 調査遂行者 調査遂行者 調査遂行者	
研究実績の概要	<p>本研究は、『2019年度マツダ財団研究助成：青少年健全育成関係』に採択された調査研究「地域特性をふまえた若者支援の研究—愛媛県東予地域を事例に：研究代表者・尾川満宏」の延長線上に位置づく。マツダ財団研究助成では、東予地域である新居浜市の産業・文化・教育・生活に関するフィールドワークと、現地の多世代の人々（20～50歳代）に対するインタビュー調査を行ってきた。</p> <p>また本研究は、マツダ財団の研究課題ならびに、2021年度に採択された『科研費基盤研究(B)』「産業構造の変容がトランジション経験に与える影響の地域差：研究代表者・知念渉」の調査の一部として位置づいている。科研調査は、新居浜調査の経験を活かして、同様の調査を北海道室蘭市、沖縄県糸満市で実施するものである。北海道室蘭市は、かつて大きく栄えた鉄鋼業の大企業である、日鋼・日鐵とその下請け企業が現代においても残っている。住友城下町である愛媛県新居浜市との地域的な状況を比較するために相応しい地域であり、産業構造の変化と地域の若者に与える影響を比較検討しやすい。反対に、沖縄県糸満市は、食品加工関連の製造業はあるものの、地盤となる第二次産業が存在しないため、産業化を経なかった地域として上記二地域と比較するに相応しいといえる。</p> <p>これまでの調査研究は、男性を中心に調査研究を進めてきたため、女性に対する調査が圧倒的に不足している。そのため、本研究では、地域の子供会や、女性が主体となる市民団体、地域の子育て広場などを調査フィールドとしながら、女性にアクセスし、新居浜・糸満・室蘭で暮らす女性に対する調査を中心に進めることとした。</p> <p>本研究では、予算的な制約の都合上、新居浜での調査のみを実施した。新居浜へは5月、8月に渡航した。5月は、地域の子供会が主体となる「子ども祭り」のフィールド調査を行い、そこに参加する子育て世代の女性へのインタビューの依頼を取り付けたほか、子どもや女性がどのように地域行事に参加しているのかを観察するとともに、地域行事・地域</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>文化の再生産のメカニズムについて観察した。</p> <p>太鼓祭りは女人禁制であり、運行者は男性に限られているが、子ども太鼓に参加する女児と周囲の大人(男性)とのやり取りを通して、その文化が継承されている様子がわかった。また、5月には太鼓祭りに積極的に参加していない男性への聞き取り調査も行い、地域との関わりについて多角的な考察を行うことができた。</p> <p>8月の渡航では、5月に依頼した若者と、子育て世代の女性へのインタビューならびに、高齢女性へのグループインタビューを実施した。また、青年団の「虫干し」イベントに参加し、太鼓台を運営する青年団の方から、「地域で太鼓台を持つことの意義」について聞き取りを行うほか、青年団関係者への聞き取りを行った。</p> <p>いずれの世代においても、地域と太鼓台の関係の中に自己を位置づける語りが見られたほか、高齢女性へのグループインタビューでは、「住友」の新居浜における存在感が大きく語られた。</p> <p>本調査では、女性を中心に置きながら新居浜調査を進めたが、産業構造の変化を読み解くために重要な変数である「住友」の部分には大きく触れられていない。今後は、住友関係者にも協力を仰ぎながら、地域において「住友」と「祭り」が人々のトランジションにどのような影響を与えているのかを、引き続き検討していきたい。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>作成中(10月8・9日に行われる日本社会学会第96回大会で報告予定)</p>